



沖田 ゆかり 議員

Q アピランスケアの取り組みを

A 町長
がん患者と社会を繋ぐための重要な取り組みであると承知している。

【Q1】
抗がん剤の副作用による脱毛などの外見の変化による心理的、経済的な負担をやわらげ社会参加を応援する意味のアピランスケアのため、広島県では今年度より医療用ウィッグの購入費用の5割、上限5万円を助成している。ウィッグの価格は10万円程度であり、町独自の取り組みを実施し、補助率を上げることにより負担軽減できないか。

【A1】
他市町の動向を注視し、追加助成を検討する。

【Q2】
県の助成事業の町民への周知方法については町広報とホームページで発信されているが働く世代には届いていないと感じる。

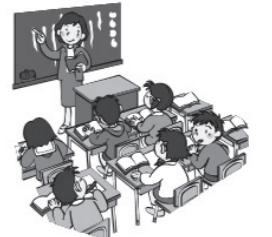
【A2】
熊野町の公式LINEで各分野の情報発信ができるよう整備中である。

【Q3】
乳がんは日本人女性の部位別のがん罹患数で全国1位であり9人に1人が乳がんと診断されている。結婚や出産、子育て、仕事など人生の基礎をつくる時期と治療が重なる乳がん患者への補助制度も検討できないか。



Q 子どもの可能性を引き出す教育を

A 教育長
子どもを中核に据えた取り組みを進めていく。



【Q1】
小学校の1学級の児童数の上限を40人から35人へ引き下げる改正義務教育標準法が成立したが、35人学級に年度途中に転入生があった場合のクラス編制は。

【A1】
5月1日を基準日としているのでクラス編制はしないが、基準日以前に転入生があればクラス編制を見直す。

【Q2】
小学校5、6年生の教科担任制の課題として支援の必要な児童への十分な学力保障とあるが具体的には。

【A2】
担任の授業時数の軽減により授業のない時間を活用して宿題のチェックなど学習状況の把握に努めている。

【Q3】
高校入試に向けた自己表現への取り組みに

ついては。

【A3】
1分間スピーチやグループでの意見交換などで自分の考えを表現発表できるような取り組みを行っている。

【Q4】
物価高騰による影響で給食費が上がるのではないかと心配されている保護者の声を多数聞いている。給食提供事業者へ支援補助事業を予算計上しているが、支援期間は。

【A4】
令和4年7月から令和5年3月まで。



▲学校給食



荒瀧 穂積 議員

Q JR矢野駅までの自動運転バスの導入を

A 町長
安全性や県市などとの協議が必要となる。自動運転の動向など注視する。

【Q1】
乗り物で観光客が呼べる。

11年前、町長と現職議員では8名が法政大学との連携で長野県小布施町を公式視察した。JR九州七ツ星列車デザインの水戸岡鋭治氏の個展も拝見、今では乗り物デザインの第一人者である。

自動運転バスを導入し、まちづくりの核として百年来の課題である。又、災害対応や観光客を呼び込む夢もかなう。

【A1】
現在実施中の県道バイパス整備を優先する。自動運転は未完成的なレベルであり、県市などとの協議には課題がある。自動運転の動向は注視する。



Q 広島熊野有料道路事業の収支決算は

A 建設農林部長
令和3年6月、広島県議会建設委員会に報告されホームページで閲覧できる。

【Q1】
広島県道路公社による広島熊野有料道路事業は、令和2年12月法令により無料にした。有料期間30年を含め当事業の収支決算は。

【A1】
地方道路公社法により事業年度ごとの決算報告がされているが、広島熊野道路を抽出したものはない。ただ、県議会建設委員会に事業終了年度の収支及び償還状況は示された。ホームページで閲覧できる。

【Q2】
今年度の県道矢野安浦線バイパス延伸予算はいくらか。

【A2】
県の当初予算として1億4,200万円が計上されている。



▶広島熊野トンネル

広島県道路公社が管理する有料道路の収支等の状況については、こちらのQRコードをご覧ください。